

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

太陽ホールディングス株式会社
東証プライム 4626
2025年11月6日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。



当社グループの事業セグメント

エレクトロニクス事業 (エレキ事業)

プリント基板(PCB)用部材を始めとする
電子部品用化学品部材の開発・製造販売
及び仕入販売



医療・医薬品事業 (医薬事業)

医療用医薬品の製造販売・製造受託、
歯科技工物の製造販売



ICT&S事業

ICT事業、ファインケミカル事業、
エネルギー事業及び食糧事業等



2026年3月期 第2四半期 トピックス

エレクトロニクス事業

- 売上高は、累計YoYで9%増加 QoQで8%増加
〈累計YoY要因〉円高推移の一方で、PKG基板・リジッド基板用部材の販売数量が増加
 - PKG基板用部材 **+** メモリ向け製品を中心に需要の高まりがみられ、販売数量が増加
 - リジッド基板用部材 **+** 車載関連、スマートフォン関連部材を中心に販売数量が増加
 - ディスプレイ関連部材(白色DF)の販売数量は減少
- 為替影響 **-** 5.8円の円高に推移したことにより業績にマイナスの影響
期中平均為替レート: 当期1米ドル 146.5円
前年同期1米ドル 152.3円

〈QoQ要因〉PKG基板用部材を中心に販売数量が増加

医薬事業

- 売上高は、累計YoYで22%増加
〈累計YoY要因〉製造受託事業において、顧客からの受託数量が増加
 - 製造受託事業 **+** 既存顧客からの受託数量が増加
 - +** 新規委託元からの受託製造の本格化により受託数量が増加
- 製造販売事業 **+** 他社同効薬の供給不足に伴う需要の増加や鎮咳去痰薬の供給量増加に伴い販売数量が増加
- 2024年10月開始の選定療養制度における対象品目の販売数量が減少

全社

- 2026年3月期の通期業績予想を上方修正
- 2026年3月期中間配当の増配を決定
- 中期経営計画の策定
- 2025年12月1日を効力発生日とした株式分割の実施を決定

連結業績

	①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③	④	②÷④
	2025年3月期 上半期 実績	2026年3月期 上半期 実績	前年 同期比	増減率	2026年3月期 上半期 業績予想 (8月1日発表)	進捗率	2026年3月期 通期 業績予想 (8月1日発表)	進捗率
単位:百万円								
売上高	59,899	67,830	7,930	13%	64,800	105%	125,700	54%
営業利益	12,430	15,187	2,756	22%	13,200	115%	24,700	61%
経常利益	12,418	15,078	2,659	21%	12,700	119%	23,700	64%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,209	11,022	1,812	20%	8,900	124%	16,000	69%
円・USDレート	152.3	146.5	△5.8		*1		*2	
EBITDA	16,986	19,477	2,491	15%	17,400	112%	33,300	58%
営業利益率	21%	22%			20%		20%	
EBITDA マージン	28%	29%			27%		26%	

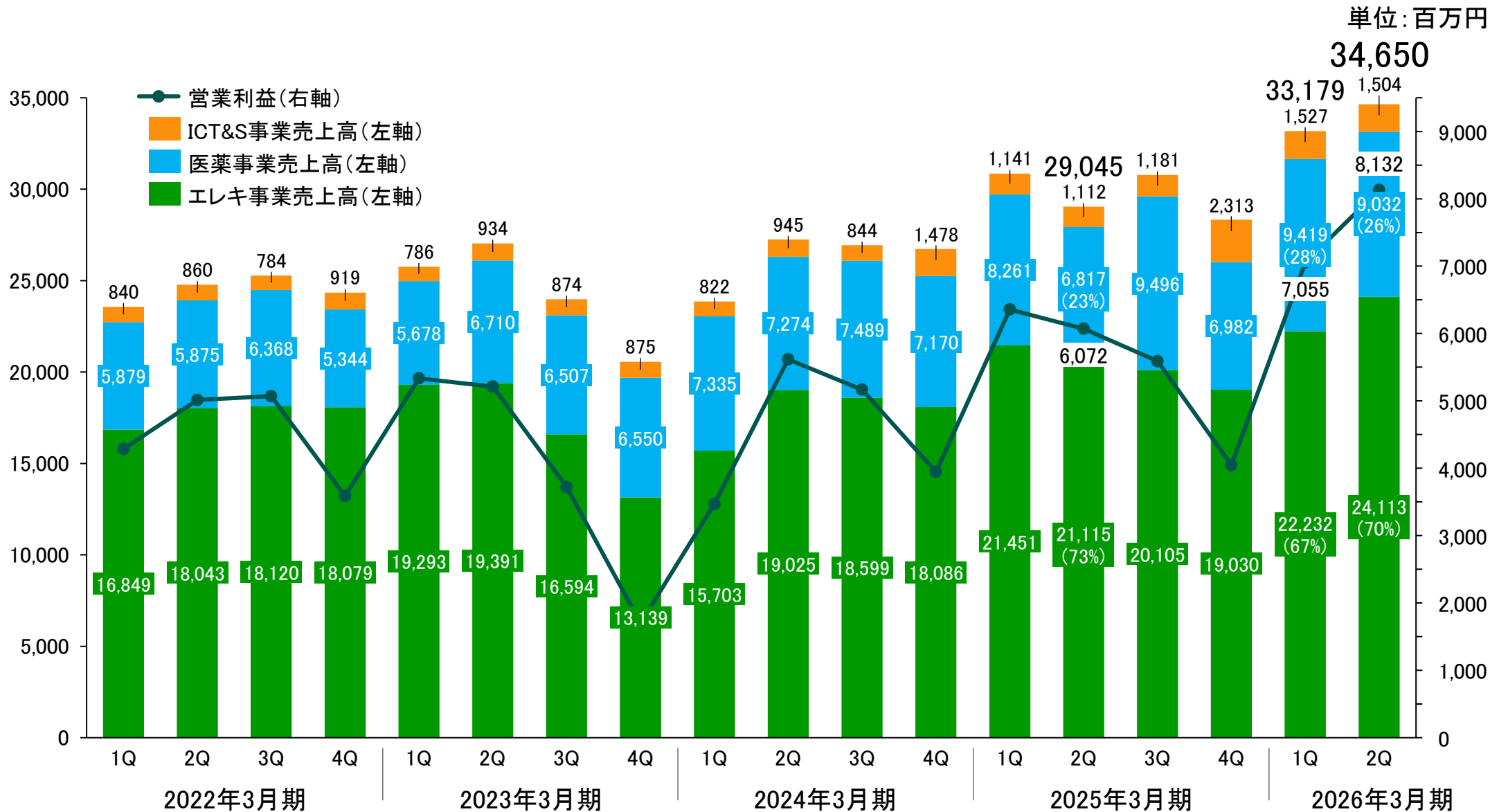
*1 円・USDレート: 2026年3月期第1四半期 実績 145.2円、第2四半期 期初業績予想据え置き 145.0円

*2 円・USDレート: 2026年3月期第1四半期 実績 145.2円、
2026年3月期第2四半期～第4四半期 期初業績予想据え置き 145.0円

セグメント別業績(売上高・営業利益・EBITDA)

		①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③	④	②÷④
単位:百万円		2025年 3月期 上半期 実績	2026年 3月期 上半期 実績	前年 同期比	増減率	2026年 3月期 上半期 業績予想 (8月1日発表)	進捗率	2026年 3月期 通期 業績予想 (8月1日発表)	進捗率
エレキ 事業	売上高	42,567	46,346	3,779	9%	43,200	107%	83,800	55%
	営業利益	12,045	13,794	1,749	15%	11,500	120%	21,500	64%
	営業利益率	28%	30%			27%		26%	
	EBITDA	13,772	15,616	1,844	13%	13,200	118%	25,200	62%
	EBITDAマージン	32%	34%			31%		30%	
医薬 事業	売上高	15,078	18,451	3,373	22%	18,500	100%	35,400	52%
	営業利益	931	2,426	1,495	161%	2,700	90%	4,600	53%
	営業利益率	6%	13%			15%		13%	
	EBITDA	3,296	4,387	1,090	33%	4,600	95%	8,600	51%
	EBITDAマージン	22%	24%			25%		24%	
ICT&S 事業	売上高	2,254	3,031	777	35%	-	-	-	-
	営業利益	138	18	△120	△87%	-	-	-	-
	営業利益率	6%	1%			-	-	-	-
全社費用	営業損益	△685	△1,052	△367		-	-	-	-

四半期別推移(売上高・営業利益)



BSの概況

BS前期比較

単位:百万円

	25/3末	25/9末	増減		25/3末	25/9末	増減
現金及び預金	44,903	39,307	△5,595	支払手形及び買掛金	8,505	10,200	1,695
売上債権* ¹	27,896	34,752	6,855	短期借入金* ³	17,634	15,338	△2,295
棚卸資産* ²	21,345	21,335	△9	長期借入金	46,888	43,308	△3,580
上記以外	3,862	3,318	△544	上記以外	16,015	15,724	△291
流動資産合計	98,008	98,713	705	負債合計	89,043	84,571	△4,472
有形固定資産	67,638	67,116	△522	株主資本	94,011	97,845	3,833
無形固定資産	16,341	15,395	△945	その他の包括利益 累計額	8,962	9,162	200
投資その他の資産	10,034	10,359	324	非支配株主持分	4	5	1
固定資産合計	94,014	92,871	△1,143	純資産合計	102,978	107,013	4,034
資産合計	192,022	191,585	△437	負債純資産合計	192,022	191,585	△437
				自己資本比率	53.6%	55.9%	2.2%

*1 売上債権:受取手形+売掛金+契約資産

*2 棚卸資産:商品及び製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品

*3 短期借入金:短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

2026年3月期 通期業績予想修正

- ✓ 通期業績予想を修正しました。修正の理由は以下の通りです。
- エレキ事業の業績が、2025年8月1日開示の業績予想を上回る見込みとなったこと。
 - 連結子会社の清算に伴う特別利益、及び一部CVCファンド売却に伴う営業外収益を計上したこと。

単位:百万円		2026年3月期 通期業績予想 (8月1日発表)*1		2026年3月期 通期業績予想 (11月6日発表)*2		増減比	
		金額	利益率	金額	利益率	金額	率
連結	売上高	125,700		128,800		+3,100	+2%
	営業利益	24,700	20%	26,900	21%	+2,200	+9%
	経常利益	23,700	19%	26,500	21%	+2,800	+12%
	親会社株主に帰属する当期純利益	16,000	13%	18,400	14%	+2,400	+15%
	EBITDA	33,300	26%	35,500	28%	+2,200	+7%
エレキ 事業	売上高	83,800		86,900		+3,100	+4%
	営業利益	21,500	26%	23,700	27%	+2,200	+10%
	EBITDA	25,200	30%	27,400	32%	+2,200	+9%
医薬 事業	売上高	35,400		35,400		-	-
	営業利益	4,600	13%	4,600	13%	-	-
	EBITDA	8,600	24%	8,600	24%	-	-

*1 円・USDレート: 第1四半期(実績) 145.2円、 第2四半期～第4四半期(期初業績予想据え置き) 145.0円

*2 下半期の業績予想は2025年8月1日に開示した業績予想を据え置き、エレキ事業の上半期の業績予想を実績値に更新し連結業績予想を修正

円・USDレート: 上半期(実績) 146.5円、 下半期(期初業績予想据え置き) 145.0円

株主還元状況

- ✓ 当社は、2026年3月期の中間配当を、1株あたり20円00銭増額することを決定いたしました。期末配当についても、連結総還元性向100%を目安とする株主還元方針を踏まえ、業績に応じて柔軟かつ機動的な対応を検討してまいります。

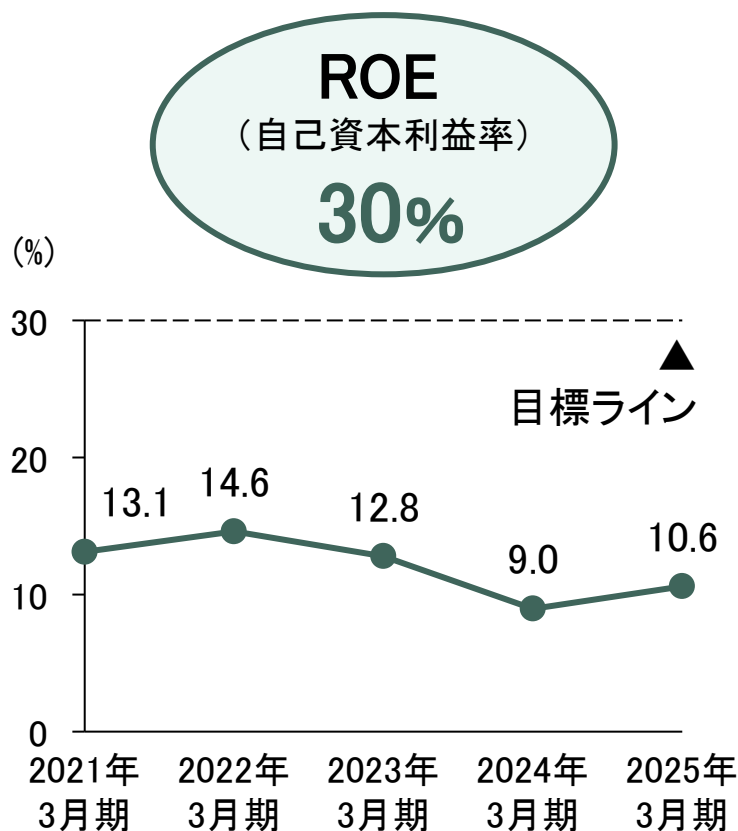
1株当たりの配当金

基準日	第2四半期末	期末	合計
2025年4月30日公表の 予想	145円00銭	145円00銭	290円00銭
			
当期実績 2026年3月期	165円00銭	—	—
前期実績 2025年3月期	40円00銭	150円00銭	190円00銭

中期経営計画の財務目標

- ✓ 当社は、2030年の長期経営構想実現及び企業価値向上に向けた新たな財務目標と、そのロードマップとしての中期経営計画を策定いたしました。

2031年3月期に向けた財務目標



	単位: 億円	2025年3月期 実績		2031年3月期 目標	
		金額	利益率	金額	利益率
連結	売上高	1,190	—	1,800	—
	営業利益	220	19%	470	26%
	EBITDA	317	27%	580	32%
エレキ 事業	売上高	817	—	1,280	—
	営業利益	214	26%	390	30%
	EBITDA	251	31%	440	34%
医薬 事業	売上高	315	—	430	—
	営業利益	20	6%	90	21%
	EBITDA	70	22%	130	30%

* 詳細については、2025年8月28日開示資料「[中期経営計画策定に関するお知らせ](#)」をご参照ください。

株式分割

- ✓ 投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資しやすい環境を整え、個人投資家層の拡大を図ることを目的として、株式分割を実施いたします。

株式分割の比率等*1

基準日の株主名簿に記録された株主の
所有普通株式1株につき、2株の割合で分割

分割比率	1 : 2
基準日	2025年11月30日
効力発生日	2025年12月1日

所有株式の配当金

期末配当予想額に実質的な変更なし

分割前	145円00銭/株
分割後	72円50銭/株 + 72円50銭/株

株式の最低投資金額

個人投資家をはじめ、投資負担が軽減

分割前	約80万円/100株*2
分割後	約40万円/100株

*1 株式分割に伴い、2025年12月1日を効力発生日として、当社定款第6条に定める発行可能株式総数の変更を予定しております。

*2 投資単位である100株当たりの投資金額は、2025年9月30日の終値8,080円/株を参考株価として算定しております。

エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業 用語説明

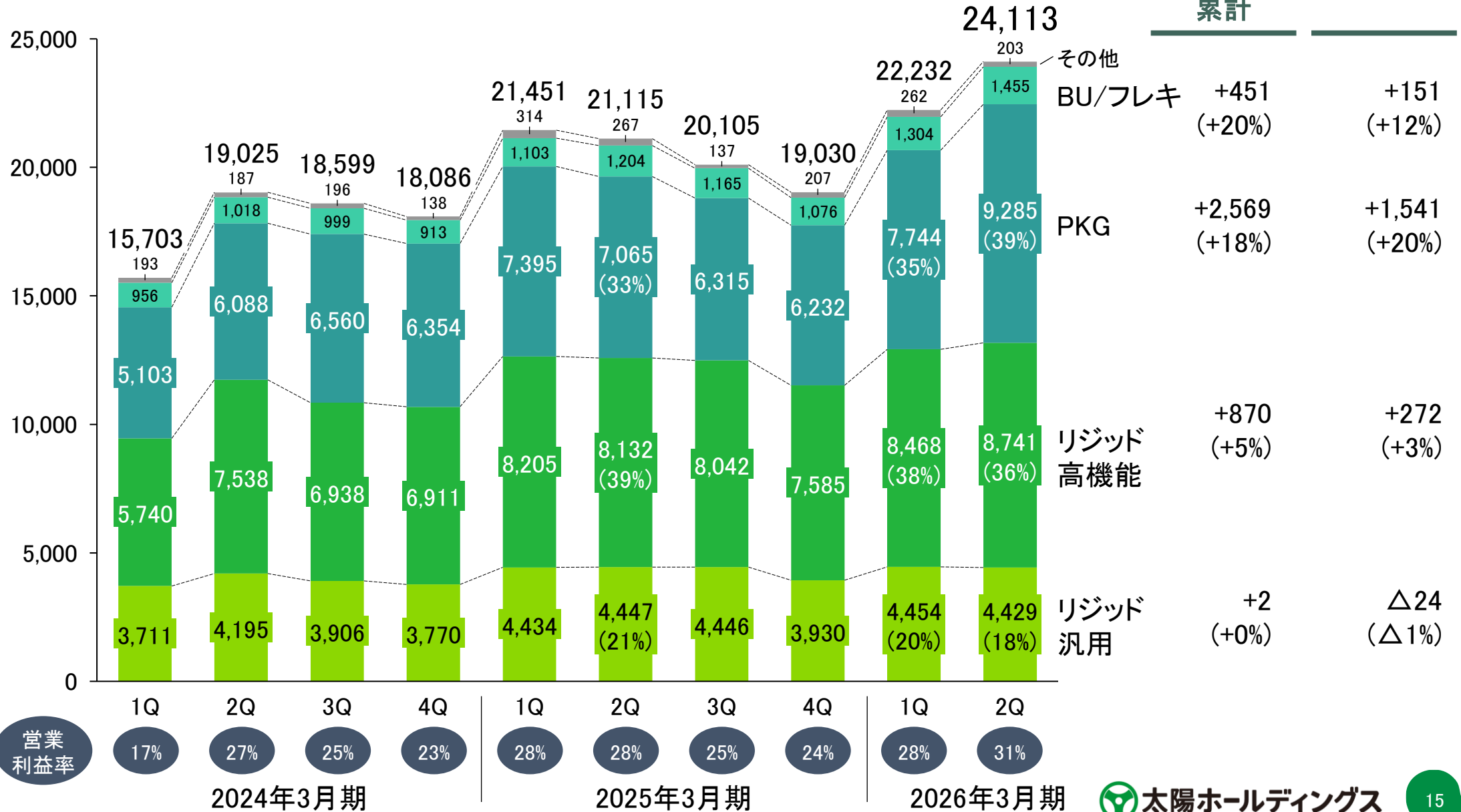
用語	内容
PCB (Printed Circuit Board)	プリント基板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト(レジストインキ)
PKG (Package)	半導体パッケージ
DF (Dry Film)	ドライフィルム
BU (Build-up)	ビルドアップ

エレクトロニクス事業 製品分類

分野	分類		性状	用途
PCB用 絶縁材料	リジッド	汎用品	液状	表層保護・絶縁用SR材料 マーキング・エッチング・めっき用材料 電子機器用材料 等
		高機能品	液状／DF	
	PKG		液状／DF	
	フレキ		液状／DF	
	BU		液状／DF	
その他 関連商材	その他		液状／DF	導電性ペースト 等

エレクトロニクス事業 製品別売上高

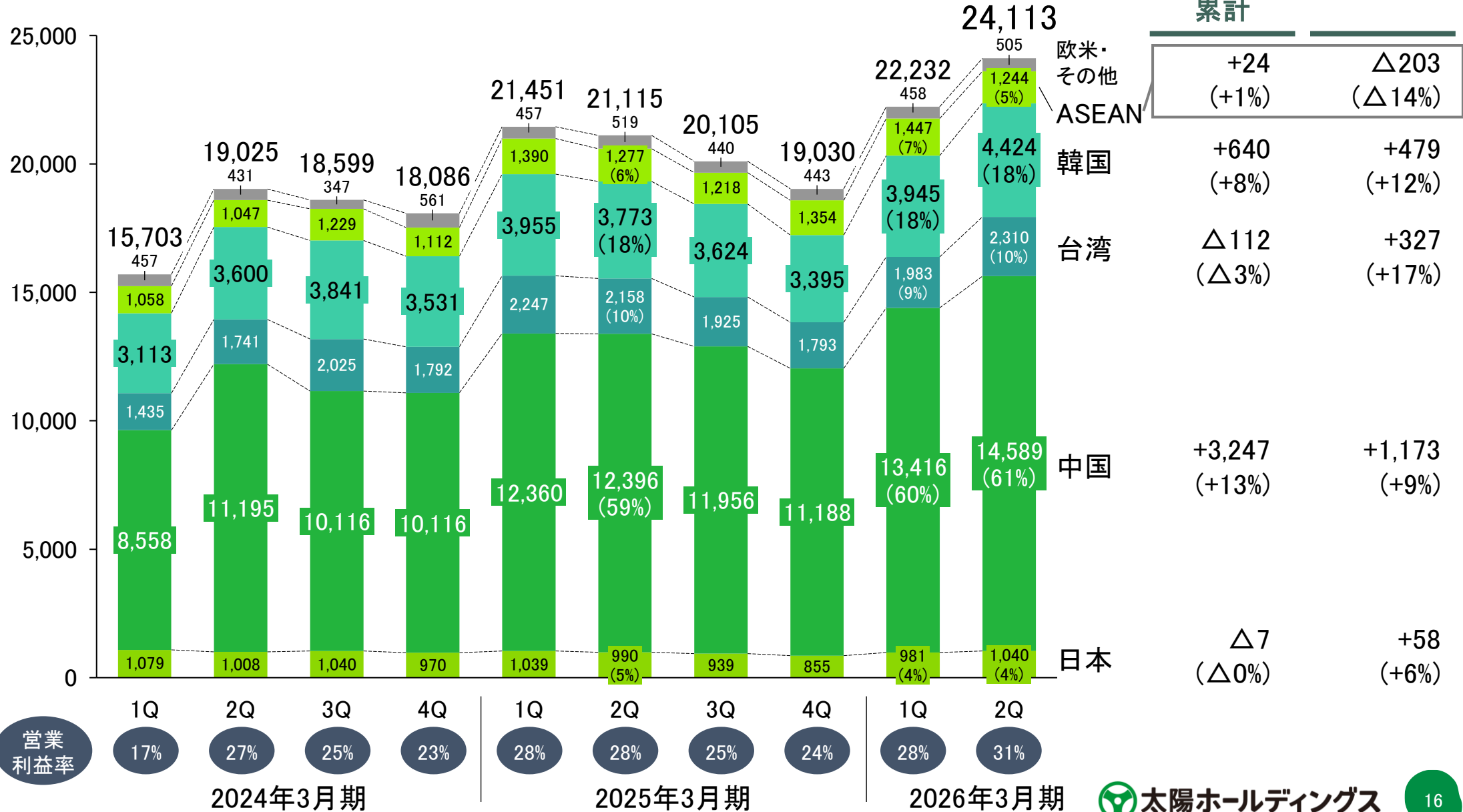
単位：百万円



営業利益率

エレクトロニクス事業 販売地域別売上高

単位: 百万円



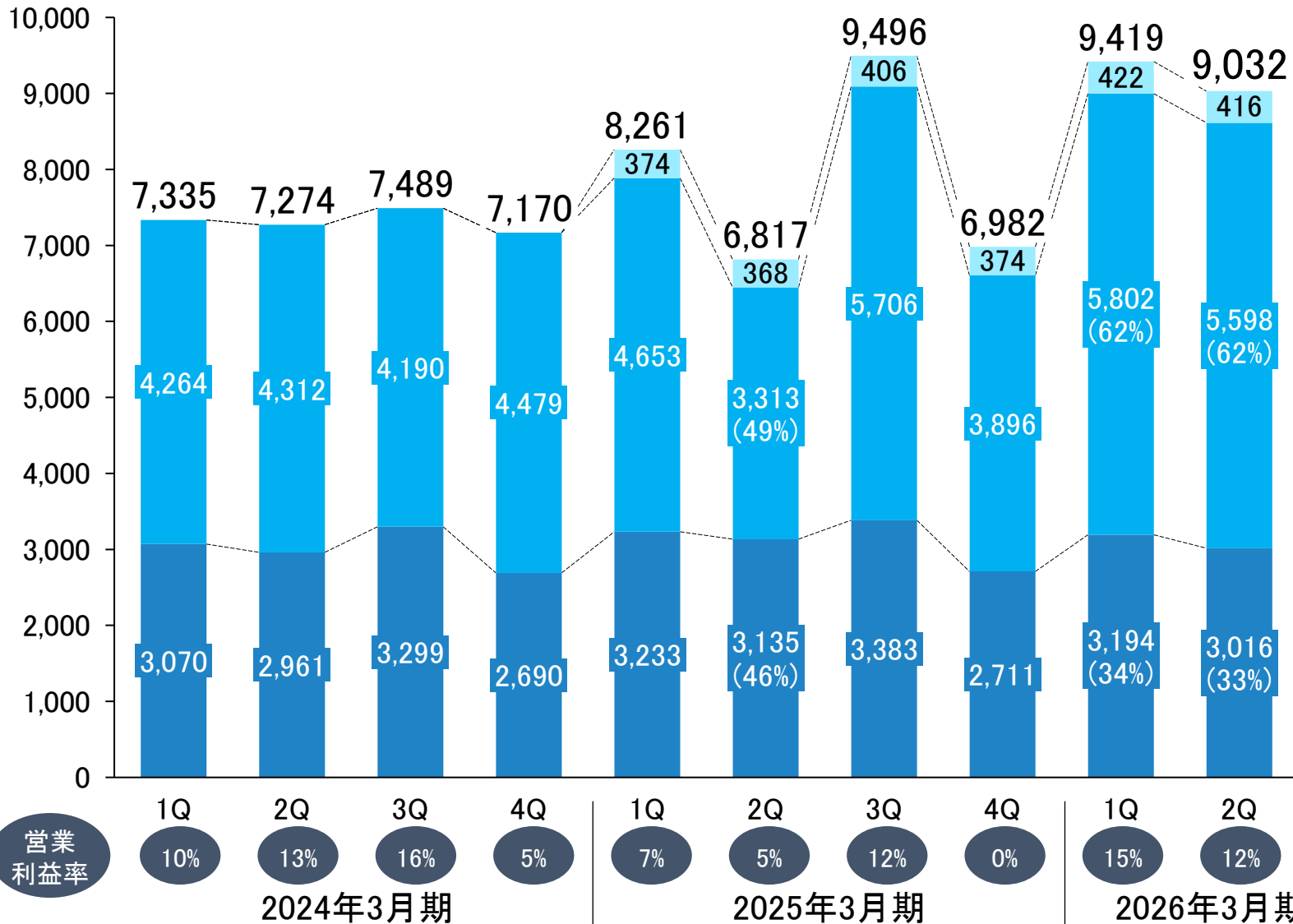
医療・医薬品事業

医療・医薬品事業 用語説明

用語	内容
長期収載品	新薬として発売された後に特許期間もしくは再審査期間が終了し、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の販売が可能となっている先発品
CDMO	医薬品製造及び医薬品製剤開発を受託する機関 (Contract Development Manufacturing Organization)
GMP	医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)

医療・医薬品事業 会社別売上高

単位：百万円



前年同期比 前四半期比
累計

マイ・スターズ (歯科事業)	+96 (+13%)	△5 (△1%)
太陽ファルマテック (製造受託)	+3,434 (+43%)	△203 (△4%)
太陽ファルマ (製造販売)	△157 (△2%)	△177 (△6%)

全社

太陽インキ製造 グッドデザイン賞を受賞

- ✓ 太陽インキ製造の技術開発センター「InnoValley(イノヴァリー)」のショールーム空間「インスピレーションスペース」が、2025年度グッドデザイン賞*を受賞しました。
- ✓ 2023年の太陽ファルマテックの福利厚生施設「T-LINKS」に続き、今回で2度目の受賞です。

インスピレーションスペースの概要

当社エレクトロニクス事業製品への理解を促す体験型ショールーム。
技術・歴史・未来を、デジタルとアナログの表現を組み合わせることで、顧客、開発者等の来訪者が“製品と技術のつながり”を体感できる空間を目指しました。



Historyコーナー



Technologyコーナー



Futureコーナー

・インスピレーションスペース紹介動画ページ:

https://www.artfreak.co.jp/wscd/wp-content/uploads/2024/06/InspirationSpace_movie_low_0722.mp4

*グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)は、デザインによって人々の暮らしや社会を豊かにすることを目的に1957年に創設された、日本を代表するデザイン賞です。

